



伊賀農業研究室・試験圃場



交配



田植え



玄米品質調査



玄米品質選抜



三重県農業研究所・試験圃場

ぶんと通信

第88号

2013年6月15日発行
(公財)伊賀市文化都市協会

『結びの神』誕生の舞台裏

昨秋、三重県では4番目となる新しいブランド米「結びの神」が誕生しました。いわゆる地球温暖化の影響で、三重県でも夏場の異常高温によるお米の品質の低下が心配されていました。そこで「猛暑でも安定した収穫量で高い品質、そして、美味しいお米を目標に、平成七年品種開発がスタートしました。

まずは目標の性格をもった子ども(種子)が生まれるように、両親の組合せを選びます。そして、人工的に交配を行って新しい種子をつくり、1つの組合せあたり約2000株の稲に育て、その中から優秀な稲を20株(系統)程度選抜します。翌年その20系統をそれぞれ50株ずつ栽培。さらにその中から優秀な5系統を選びます。このような選抜方法を繰り返すこと約5年、選抜で残った1〜2系統は、続いて数年間に渡って、病気に対する強さ、収穫量、食味などの詳しい調査を行い、見事合格したものだけが、新しい品種として登録されます。10年を超えるような歳月をかけて行われるお米の品種開発。しかしながら、選抜や調査の段階で途中で打ち切りになる組合せがほとんど。そのため、品種開発の現場では、毎年何十もの新たな組合せの交配に挑戦しています。そして、いつかはゴールまで到達する「イネ」が現れると信じて、毎年、並行して繰り返し進行していく膨大な作業に地道に取り組んでいます。

三重県でお米の品種開発を担っているのは、三重県農業研究所と伊賀農業研究室。ここで栽培される稲は毎年約8万株。サッカーグラウンド3面分はある広大な試験圃場で、たった5名の職員の手で、1本1本苗を植えて行っています。

新品種誕生に結び付いたのは5年目の平成十二年に交配した20組の組合せの中の1つ。誕生までの17年間に育てた稲は50万株以上。「結びの神」は50万を超えるいのちを大切に育て上げ、その中から選抜抜かれて生まれたお米なのです。

2年目の今年、栽培面積は70畝に拡大。八月中旬には黄金色に輝く田圃から350トンの「結びの神」が収穫される予定です。この「結びの神」でたくさんのご縁が結ばれ、三重、そして伊賀の地に幸せがいつぱいもたらされるよう心よりお祈りしています。

(取材協力 三重県農業研究所・伊賀農業研究室)
(広報事業委員 重藤憲史)

BUNTO チケット情報

藤原道山
×
SINSKE
「風神雷神」



6/30日 好評発売中
開場14:30 開演15:00
一般 3,000円 (全席指定)
ふるさと会館いが

布施明
LIVE2013



7/5金 好評発売中
開場18:30 開演19:00
一般 5,000円 (全席指定)
伊賀市文化会館

三山ひろし
コンサート



7/20土 好評発売中
①開場12:30 開演13:00
②開場16:30 開演17:00
一般 3,800円 (全席指定)
ふるさと会館いが

ベンチャーズ
Japan Tour
2013



8/25日 好評発売中
開場15:30 開演16:00
一般 5,000円 (全席指定)
伊賀市文化会館

ドラゴンボール
超激闘
おきな星の助かま



8/31土 好評発売中
①開場12:30 開演13:00
②開場15:00 開演15:30
一般 1,800円 (全席指定)
伊賀市文化会館

西本智実
×
京都市交響楽団



10/12土 7/14日 発売
開場15:30 開演16:00
一般 3,000円
高校生以下 1,500円 (全席指定) (当日各500円増)
伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館 青山ホール

TEL.0595(24)7015
TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが
あやま文化センター

TEL.0595(45)9125
TEL.0595(43)1125

先取りインタビュー

ふせ あきら
布施 明さん

来る7月5日(金)、伊賀市文化会館において「布施明 LIVE2013」が開催されます。公演に先立ち布施明さんにお話を伺いました。

Q. 過去に25回のNHK紅白歌合戦出場や、日本レコード大賞など数々の歌唱賞を受賞という輝かしいご活躍をされてきていますが、一番思い出に残っていることをお聞かせください?

A. 昭和45年の大阪万博で開催された「ヤング歌謡フェスティバル」(後にこれが東京音楽祭になった)で「愛は不死鳥」でグランプリを頂いたのが一番心に残っています。



Q. 歌い方、声量(声)、お姿も昔と全く変わりませんが、何か特別心がけておられることはありますか?

A. 歌い方はなるべく素直に歌うように心掛けています。声に関する事は特別なトレーニングはしてません。

Q. 趣味が陶芸とお聞きました。伊賀は「伊賀焼」と言う焼き物がありますが、陶芸のどんなところに心をひかれますか?

A. 最近は陶芸はやってません。私の先生の田中佐次郎さんがスイスに移ってしまったので。伊賀焼は景色がいいですね。土に触れていると心が穏やかになると言われて来ましたが、私は雑念ばかりで到達しませんでした。

Q. 最後に、伊賀の皆さんにメッセージとコンサートの抱負をなどお聞かせください。

A. この度のコンサートは、私の約50年の歌手としての活動の中で初めての試みの形式での舞台です。ミュージシャンも、ピアニストとストリングスカルテット(ヴァイオリン×2・ヴィオラ・チェロ)の計5名です。稽古も沢山やり、シャンソン・ライブの様に小意気に仕上げました。どうぞお楽しみ下さい。

ありがとうございました。布施さんの素晴らしい歌声を楽しみにしております。

(広報事業委員 松永啓子)

先取りインタビュー

みやま
三山ひろしさん

来る7月20日(土)、ふるさと会館いがにおいて「三山ひろしコンサート」が開催されます。公演に先立ち三山ひろしさんにお話を伺いました。

Q. デビューのきっかけは地元高知県で開催された「NHKのど自慢」に出場されチャンピオンになられたことと聞いております。小さいころから、のど自慢荒らしだったのですか?

A. 小さい頃は、町のお祭りやカラオケ大会に出ては優勝し、よく景品を貰っていました。

Q. 低音から高音まで響きのある音色はまさに「ビタミンボイス」ですが、歌手の命である喉を大切にされる上での秘訣があれば教えてください。

A. 自宅・そして旅先のホテルでは必ず加湿器を準備して乾燥しないように気をつけています。

Q. 特技の中に竹トンボ製作や裁縫がありますが、きっかけとなった事があれば教えてください。また、けん玉準初段の腕前ですが今も続けておられますか?

A. 子どものころ、祖父におもちゃを買ってほしいとお願いしたところ、おもちゃは買うものじゃない! 作るものだと言われて竹と小刀を渡され、一緒に竹とんぼを作った。そんな思い出があります。けん玉は常に練習をしています。

Q. 最近テレビ等で演歌歌手の出番が少ないように思います。実力のある人が多い演歌界なのに若者受けする歌手や曲が多く、中高年の人たちが寂しい思いをされております。

今後、ジャンルを超えた曲も歌っていただきたいと思いますが、このことについて三山さんの思いをお聞かせください。

A. 自分自身は昭和の名曲を大切に歌いついでいきたいと思っています。特に長編歌謡浪曲は極めたいですね。

Q. 7月の公演を楽しみにしている伊賀の人たちへのメッセージをお願いいたします。

A. 当日は三山ひろしを聞きにきてよかったと思えるように、一生懸命頑張りますので是非お越し下さい。

ありがとうございました。楽しみにお待ちしております。

(広報事業委員会 森 正美)





一筆啓上
ふるさとへ

「どこでもドアで伊賀へ」

声優 水田わさび



大好きすぎる故郷。役者仲間にも言われます。「また実家帰るの?」と。伊賀出身であることをやたらアピールする水田わさびです。

芸名の「わさび」は、実家の庭にわさびが自生することから、劇団の座長につけてもらった名前です。わさびが自生するほど、美しい空気と水が自慢の故郷です。

三十軒ほどの集落の山村で育った私は、子どもの頃は、学校へも習い事へも通うのが不便で大変でしたが、何もかもが貴重な体験だったと思います。村中の人々が家族のようで、今、東京で子育てをしている私にとっては、山村での暮らしが宝物のようであったと思います。そして子育てをされていて気づかされたのが、両親、祖父母への感謝の気持ちです。田舎では地元の行事やお付き合いが沢山あります。仕事と農作業で忙しい中、その全ての行事に参加させてくれていたのは、すごい事だったと自分が親になって気づきました。

「ふるさとは 遠きにありて 思ふもの」
確か室生犀星の詩ですが、両親の部屋に物心ついた時から、額縁に飾られていて、何気なくいつも目にしていました。大人になってこれほど身にしみる言葉になるとは、あの頃の私は想像もしていなかったことでしょう。

こんなに愛してやまない故郷を離れてまでも夢を追いかけたかった私。そして今も、夢を追いかけているのは、故郷があるから、両親が元気だからです。

母の口癖は「ご先祖様を一番に思いなさい」です。ご先祖様のお陰で、今の私がいる。ご先祖様のお陰で、最高の故郷、伊賀が私にはある。こんなにありがたいことはありません。

いつも思っています。「どこでもドア」があったら、実家から、お仕事に行けるのになあって。

水田わさび講演会

「一人じゃなんも、できへんよ みなさんのおかげ!」

8月11日(日) 開場13:30 開演14:00

会場 青山ホール ※詳細は7P

伊賀のええもん見つけた

旧阿山町石川地区、穴石神社東側に小さな竹藪がある。その一帯はあの盗賊「石川五右衛門」の屋敷があった場所だと伝えられている。昼間は人の往来も少なく、時折吹く風に身をゆだねた竹が、さらさらキュッキュと乾いた音で囁いているだけである。

五右衛門といえば、安土桃山時代の大泥棒。秀吉の城へ忍び込んだが、千鳥の香炉がチリリと鳴いた為あえなく捕えられ、京都三条河原にて一族もろとも釜茹での刑に処された話は有名である。近年発見されたイエズス会宣教師の日記にも彼の記録がある事から、存在自体は本当だったらしい。ただ、生まれは遠州浜松・河内石川そしてこの伊賀と諸説あり、謎の多い人物である事には変わらない。

父に小さい頃尋ねた事があった。「どうしてもっと五右衛門の事を知ってもらわないのか?」と。「実際、本当に伊賀の国の生まれでこの場所に屋敷があったのかも定かではないし、ましてや大盗っ人、きっと昔から人々はひた隠しにしてきたのだろう。」と答えた。

そうだ、出身と言われる土地の人々の感情も、五右衛門を一層謎めいた人物にした一因なのだと思う。しかしながら、悪

「石川五右衛門考」 (屋敷跡)

事だけでなく、後年芝居や文学の中で時の権力者を狙って財宝を奪い、弱者の味方として民衆の心を掴んだイメージもある事から、私は少なからず親しみを感じているのだが。

遠い日、学校から帰ってすぐランドセルを放り出し友達と夕方までかくれんぼに興じたその場所が、善きにつけ悪きにつけ歴史に名を残した人物がいた場所とすれば、不思議な気持ちになってくる。今は、何代も世代を代えた竹藪だけが変わらずここで唄い続けている。(広報事業委員 南出ゆかり)



「穴石神社より臨む」

ぶんと通信

夢ing

「芯があれば揺るがない」 ～夢を叶えるために～

伊賀FCくノ一 監督 浅野 哲也

私は36歳で現役選手を引退しましたが、それまでの道のりは波乱万丈でした。

当時はまだプロリーグはなく、実業団サッカー部（現トヨタ自動車）に入りたいがために、無名の高校から一般入試で入社。同好会からサッカー部へ引き上げられ、念願の日本リーグに参



加することができ、後に日本代表メンバーにも選ばれ、その後Jリーグ誕生と共に、名古屋、浦和などで、プロとしての選手生活を送ることが出来ました。

少年時代から現在まで、何が私を支えていたか・・・それはサッカーに対する情熱と何があっても継続できる自信でした。だからこそ様々な困難に立ち向かい乗り越えられたのだと思います。

「芯があれば揺るがない」・・・これは、私が指導者としてスタートした頃に先輩から頂いた言葉です。選手時代の自分と指導者としての自分。どちらにも共通して思えるのは、確固たる信念「芯」があれば、どんな状況にも動じず、必ず前へ進んでいけると言う事。夢を持ち、そこに向かう強い「芯」があれば、自信を持ってチャレンジして欲しいと思います。



夢ing

「村」から新時代の創造力を

画家／島ヶ原村民芸術「蜜の木」

代表 いわたけ 岩名 泰岳 やすたけ



2011年3月11日、私はドイツの小さなアトリエで絵を描いていました。そこで日本での大震災と原発事故を知りました。私たちが信じて来た安全で便利な社会は実態のないものだったと異国の地で知ったのです。そして私は伊賀に帰って再び創作活動することを決め、同時に地元に残る若者たちによる故郷から新しい創造力を発信する無名のクリエイティブ集団のようなものを設立しようと構想していました。

2012年5月に帰国し、村はずれの廃墟になっていたアトリエを借りました。国内外で展示会をしながら、島ヶ原に残る同級生たちに呼びかけて2013年1月に島ヶ原村民芸術「蜜の木」を設立しました。メンバーのほとんどは芸術とは無縁の普通の村の若者です。年齢は19才から25才、現在14名が参加してくれています。この5月に第1回目の展示会「郵便夫（ポ

ストマン）と森の星」を開催いたしました。ここではクリエイティブディレクターの後藤繁雄氏を東京からお招きして、日本の自然や地方社会から生まれる新しい芸術文化をキーワードにトークショーを企画いたしました。

私の願う「村民芸術」とは、地域に生きる人々の創造力が、その土地の自然や風土、歴史、あるいは産業や経済とも共鳴しながら、様々な境界を飛び越えて、今後伊賀地方から最先端の芸術文化を生み出し発信していくことなのです。



芭蕉さん歳時記

さみだれ せふ たず みなれがわ
五月雨も瀬踏み尋ねぬ見馴川 (大和順礼)

高山、喰代の山を源流として曲りくねりながら流れる久米川の下友生橋の欄干には、芭蕉の旅姿と俳句が刻まれた銅版がはめ込まれています。書と絵画はいずれも地元の画家・濱邊萬吉氏によるものです。



芭蕉は、正保元年(1644)に出生。幼名を金作、長じて宗房と名乗り、俳号としては初め宗房、次に桃青、芭蕉と改めました。

明暦三年(1657)、十四歳の時、藤堂主計良忠(俳号蝉吟)の近

侍として出仕。二十三歳の夏、良忠と死別しました。

寛文十年(1670)、二十七歳の時に、掲出句を作りました。句意は、いつも見馴れている川でも五月雨が降って水かさが増え、どこが深いのか浅いのかも分からず、渡れないほどだ。五月雨もその河瀬を尋ねるかのように川面をたたいている、という意味でしょう。見馴れた川と固有名詞の見馴川をかけている技巧がこの句のねらいです。

川の深みに足を取られないよう慎重に俳諧の世界を渡ろうとする若き芭蕉の姿を思わせるかもしれません。

芭蕉が二十九歳の春、自判の発句集「貝おほい」を上野天満宮に奉納、俳諧師としての前途を祈願し、これを機に江戸に向かいます。



【協力】公益財団法人芭蕉翁顕彰会

(広報事業委員 西岡時彦)

優子の



多情 多感

No.49

「近所付き合ひ」 北泉優子

所付き合ひは全くなく、その代わり仕事仲間や酒友が、わいわい出入りし、ひとり暮らしの淋しさは、つゆもなかった。隣室の女性が、ゴールデンを倒つていたので、三年間も気分がなかつたんだから。大都会の生活というもの、事ほど左様に、こんなものだ。孤独死なんて、もしかしたら、当り前のことかもしれない。隣りの住人が一ヶ月留守にしたら、誰一人気にもかけないのだ。むろん当方も無関心の一人だった。小さな親切大きな世話。これが東京だ。

そして、四十余年が経ち、伊賀へ東京往復の期間があつて、伊賀の住人に再デビューした。

そのなかで、腰が抜けるほど驚いたことが二つある。一つは全市かどうか分からないが、町内一斉の草引き。丁度草の伸びかける頃だったろうか。回覧板の一まわりで、町中の雑草がもの見事に消えていた。そのゴミ出しの日には、いつもの何倍かの草や土のゴミの山の。この現実には、わたしは正直全身毛立つた。内心怖ろしかった。回覧板の紙切れ一枚で、全家が動くのか。命令一下、個人の都合など度外視で草引きをするのか。わたしは見事に美化された町内を歩きながら、ふと、村八分という言葉の思い出が、あの悪夢の戦争のことまで思つてしまった。でも、これは、どうやら当方の深読みで、ずっと以前からの慣習だった。よかつたわア。

次に驚いたのは、町を歩くと、かならず誰か知り合ひと出会うこと。知らない人でも、「北泉さんやね」と声をかけてくれる。はいと答えると、「広報のぶんと」と、読んでる。このごろ猫の話書いてへんけど、猫元気が」と五分や十分の立話になる。これでは、ちよつとした買物でも、外出着に着替へねばならない。大都会の都心では、普段着のスツピンで、平気で闊歩して外に出ると、とたんに近所さまが「どこへ行くの」と近づいてくる。これこれしきかと返答すると、納得して去つてゆく。近所さまは、物すごく情報通でもある。退屈している時話しかけると、どこの誰がどうした、こうしたと、未知の人の噂話を延々としてくれる。が、こちらは、噂の主と突き当たつても分からない。だから、噂はわたし止まりだ。

別のご近所さまは、玄関のカーテンが開いてないと、裏口から「元気が、体調悪いのちがうの」と気遣つてくれる。そのご近所さまには、留守の時の買物や伝言を頼み、大変ありがたく思つている。

遠くの親類より近くの他人。ふるさと暮しも二十年近く。やつと、その意味が分り、伊賀が噂の町でよかったと考えられるようになった。そして、プライベートを守つるために、時に、便利な関西弁を使うことにした。「どこへ行くの」「ちよつと、どこまで」

ご近所付き合ひは、つかずはなれず踏みこまず。これが一番だ。(作家・市内在住)

二十代半ばの頃のことである。まだNHK東京局へ勤務していたわたしは、その夜残業で、帰りは終電近くになった。局のタクシーのチケットは持つていたのだが、当時で二千円もかかる八王子近くの公団住宅に住んでいたから、自腹じゃないにしても、何がなし、もつたいたいから電車にしたのだ。立川をすぎると、乗客もまばらで酔いつぶれた男が、座席をベッドがわりにして熟睡していた。わたしも、ついうとうとうしていると「今、お帰りですか。毎日残業で大変ですね」と中年の男の人に声をかけられ、薄目を開けた。知らない顔である。中年氏は断りもなく、わたしの隣に座り、鞆か夏ミカンを二ヶ取り出すと、「どうぞ、お姉さんと一つつつ食べてください。なあと、わたしも貰つたんですよ。それにしても、NHKの編成部というのは、男女の別なくコキ使うんですな。緊急ニュースが入つてくると番組が変更になるの。まったく、若い娘さんには荷の重い重要な仕事ですな」

ペラペラ喋るこの人は一体何者？わたしが姉と住んでいることも、仕事の内容まで知つている。か身り不安になつてきたこつちは、合槌を打つ余裕もなく、身を硬くして、何かあれば、これで叩いてやろうと、バッグを握りしめ直していた。現在で言うストーカーと思ひ込んでしまつたのだ。

「あの、わたし、次の駅で降りますから、失礼します」立上りかけるわたしをポカんとした様子で見あげた中年氏は、ああそうかと大声を出し、背広のポケットからわざわざ名刺まで出して、初めて身分を明かした。何と!! 彼は団地の同じ階の隣りの住人だったのだ。

「ごめんさい。お隣りのご主人とは知らなくて……」

「いやいや、めつたに会わないから、忘れませよ」

その後は、少し親しい会話で、隣り同士に鍵を開けお休みなさいをした。

わたしは、この団地に十数年居たが、近所付き合ひなんて、こんな浅い、淡白な関係ばかりだった。ただ、万一の時のために、同階の一軒だけ、親密な付き合いをさせてもらった。毎日コーヒーを馳走になり、世間話をし、ご主人は、日曜大工で本棚まで作つてくれた。そのかわりこちら取材旅行に出ると、必ず土産を買つて帰つた。

ぶんと通信

チャリティーライブ Full・Come・Live vol.38

地域で文化活動している方に発表の場を提供!! 今回チャリティーにご協力いただく出演者は6組です。お友達やご家族と一緒にご来場ください。



①ハーモニカグループ〜風〜 ②KOKKY'S(コッキーズ)
④北川豊子 ⑤BREAK OUT ⑥ensemble io
③TOOKOU (出演順不同)

入場無料

チャリティー募金にご協力ください。
「東日本大震災」の義援金として全額寄付いたします。

【日時】 7月7日(日) 開場 13:30 開演 14:00
【場所】 ふるさと会館いが 小ホール

伊賀市文化会館 ステージonSTAGE



情熱の Flamenco

フラメンコ

なめらかに流れるギターの旋律に、ハスキーな「カンテ」の歌声と情熱の「舞」が魅了する。

【場所】 伊賀市文化会館 ステージ
【料金】 一般 500円(全席自由)
【定員】 150名(限定)
【出演】 ギター：彌月大治、パイレ(ダンス)：山本直子、カンテ(うた)：西田祐加

7/13(土)
19:00~ (18:30開場)

史跡旧崇廣堂特別講座

漢文学教室

参加者募集

歴史情緒あふれる江戸時代の藩校で、歴史史料をもとに「漢文学」を学んでみませんか。どなたでも気軽に学習いただける講座ですので、ぜひご参加下さい。

【日時】 第1回 7月13日(土) 第2回 7月27日(土)
第3回 8月10日(土) 第4回 8月24日(土)
講義時間 13:30~15:00 (4回講座)
【講師】 皇學館大学名誉教授 野村 茂夫氏
【テーマ】 「論語」を読む
【参加費】 800円(4回分、初回に徴収します。)
【定員】 40名
【申込受付】 6月17日(月) 9:00から ☎22-0511にて受付

夏休み特別企画

質感体験! イガデハクin上野歴史民俗資料館

なつやすみてづくり体験 ふえすた

夏休み期間の子ども達に、楽しく、質の高い手づくり体験! 「イガデハク=伊賀でデザイン博」その出展作家の皆さんに協力いただき、作品の質感の高さを感じる作品展示と楽しい手づくり体験をお楽しみいただけます。

【日時】 7月21日(日)~8月25日(日)
9:00~16:30
【場所】 上野歴史民俗資料館 (☎21-6666)
【入館料】 大人 200円、高・大学生 150円、小中学生 100円
※参加作家・体験の内容については、チラシをご覧ください。
※体験イベントに参加する場合は、実費が必要です。

漫画家永井芳司氏の
懐かしの
少年・少女マンガ展
もお楽しみに!

納涼茶会

ゆかた de おもてなし 夏菓子の簡単デコレーション体験

高校生・未来の菓子職人(パティシエ)による

【日時】 8月24日(土) 10:00~15:00
◆夏菓子作り体験会
①10:00 ②11:00 ③13:00 ④14:00
【場所】 武家屋敷 入交家住宅
【参加費】 300円(抹茶・和菓子・入館料含む。)
※夏菓子作り体験会参加者は400円。
※事前にチケットをお買求めください。
【定員】 各回10名
【申込受付】 7月13日(土) 9:00から ☎22-0511にて申込受付
【販売場所】 入交家住宅・伊賀市4ホール
【協力】 三重県立伊賀白鳥高校 パティシエコース、華道・茶道部



施設アート活用特別企画

作品展示者募集

灯りと華のプロムナード

伊賀の歴史的な施設、栄楽館、史跡旧崇廣堂、旧小田小学校本館、武家屋敷入交家住宅等を美しく彩る「手づくり灯り作品」と「いけばな」の展示作品出展者を募集します。風情ある「和の空間」をあなたのアート作品が彩ります。

【募集期間】 7月1日(月)~8月15日(木)まで
【応募方法】 所定の応募用紙にて応募いただきます。※別途募集チラシ裏面をご利用ください。
【展示場所】 上記伊賀市内4施設ほか(予定)
【展示期間】 10月12日(土)~10月14日(月・祝)
◆灯り作品
電球等の灯りを用いた手づくりアート作品で、施設内に展示出来るもの。
◆いけばな展示
大作を含み、花・花器等は各自でご用意いただきます。当方でライトアップします。
※詳細は ☎22-0511 までお問合せください。

日本の伝統文化『能』

夏休みの自由研究に 「能楽」を体験してみよう!

大人の方でも
大歓迎です!

- ・能の歴史について
- ・小鼓など、楽器体験
- ・能の装束試着
- ・実際に舞ってみよう
- ・能楽教室参加の子ども達による仕舞鑑賞
- ・プロの能楽師の仕舞鑑賞 などなど

【日時】 7月28日(日) 14:00~16:00
【場所】 ふるさと会館いが 小ホール・会議室
【対象者】 小学生以上(先着60名) ※小学3年生以下は保護者同伴
【参加費】 無料(冷たいお飲み物付き)
【申込受付】 7月7日(日)9:00から ☎22-0511にて受付

楽しく伝統芸能を習ってみませんか!

能楽教室 生徒募集

見学OK!

600年も昔から受け継がれてきた『能』に触れてみませんか! ふるさと会館いがでは、月約2回の能楽教室を年間とおして開催しています。難しいのでは…と思われる方も大丈夫!! レベルに応じて指導いたします。『能』を観たことがない方でも大歓迎です。

【練習日】 月約2回第2・4水曜日 ※練習日は変更になる場合があります。18:00~22:00の間
【場所】 ふるさと会館いが 小ホール及び会議室
【対象者】 小学生以上 練習に参加可能な人
【料金】 月額2,000円
※ただし、3月2日(日)開催の本公演チケット12,000円分負担
足袋(厚手の靴下可)
【持ち物】 足袋(厚手の靴下可)
【申込受付】 ☎22-0511にて受付
※気軽にお問合せください。



参加者募集 **タッチ・ザ・スタインウェイ**
 ~世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!~

■ふるさと会館いが 7月27日(土) 10:00~17:00
 ■青山ホール 8月3日(土) 10:00~17:00

【演奏時間】 1枠30分 ※おひとり1枠のみ
 ・申込者本人のみ利用。音楽教室等の指導としての利用不可。

【参加費】 500円
 ・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組
 1時間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)
 ・1枠に3名以上(ただし2台の場合は除く)の使用は不可。

【募集人数】 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切

【申込方法】 6月22日(土) 11:00から電話受付

【申込先】 ●ふるさと会館いが ☎45-9125 (月曜休館)
 ●青山ホール ☎52-1109 (水曜休館)

ドラえもんの声優 水田わさび 講演会

「一人じゃなんも、でけへんよ みなさんのおかげ!」
 伊賀市出身で、声優として大活躍の水田わさびさんをお迎えして、幼少の思い出や、上京してからのこと、また、ドラえもんオーディションの秘話など、楽しいお話をお聞かせください。

【開催日時】 8月11日(日) 開場 13:30 開演 14:00

【会場】 青山ホール(伊賀市阿保1411-1)

【入場料】 無料(要整理券)
 ※配布初日(6月15日)に限り、お1人4枚の枚数制限です。
 ※未就学児入場可。席が必要な場合は整理券が必要です。

【整理券配布方法】
 6月15日(土) 9:00から伊賀市文化会館で配布します。6月16日(日)以降は、伊賀市文化会館、青山ホール、ふるさと会館いが、あやま文化センターで配布します。お電話でのご予約は、6月16日(日) 9:00の時点で残席があれば承ります。

太極拳教室

.....
 - カラダの芯からリラックス -

【日時】 毎週土曜日 8回講座
 第2期 7月13日(土)~9月7日(土) ※8/10休講
 受付 9:30~ / 時間 10:00~11:30

【場所】 いがまちスポーツセンター

【料金】 4,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 20名
 ※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 横山 公則先生

【申込受付】 6月23日(日)、10:00から
 ☎45-9125にて申込受付



~美と健康の総合プロデュース~

YOGA de Night!

心身共に健康で自立できる元気な体づくり!

【日時】 毎週水曜日 6回講座
 7月3日(水)~8月21日(水) ※7/31、8/14休講
 受付 19:00~ / 時間 19:30~20:30

【場所】 伊賀上野交流研修センター

【料金】 3,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 40名
 ※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 堀川 郁子先生

【申込受付】 6月29日(土)、9:00から☎22-0511にて申込受付



アクアZUMBA

.....
 水中ダンスフィットネス!

【日時】 毎週金曜日 4回講座
 6月28日(金)~7月19日(金)
 受付 13:00~ / 時間 13:30~14:30

【場所】 大山田B&G海洋センター プール

【料金】 2,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 30名 ※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 川南 林恵先生

【申込受付】 6月18日(火)、13:00から☎22-0511にて申込受付



アクアピクス

.....
 みんなで楽しく水中エクササイズ!

【日時】 毎週月曜日 4回講座
 7月8日(月)~8月5日(月) ※7/15休講
 受付 10:30~ / 時間 11:00~12:00

【場所】 大山田B&G海洋センター プール

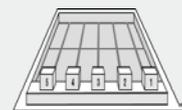
【料金】 2,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 30名 ※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 辻 明子先生

【申込受付】 6月18日(火)、11:00から☎22-0511にて申込受付



“ノルディック・ウォーキング”を体験しよう! Vol.3
 用具は貸出します

2本のポールを持って、歩行運動を補助しながら歩くため、腰や膝に負担が少なく、ダイエットや姿勢矯正、リハビリ、介護予防などに効果があるとされる、今注目のウォーキングエクササイズです。
 まずは、ちょっとだけ体験してみませんか?

【日時】 7月4日(木)
 受付 10:30~ / 時間 11:00~12:00

【場所】 岩倉峡公園キャンプ場

【料金】 200円

【対象者】 18歳以上

【定員】 50名 ※先着順。定員になり次第締切。

【申込受付】 6月20日(木)、10:00から☎22-0511にて申込受付



癒しのマットサイエンス

.....
 ヨガとピラティスの融合

【日時】 毎週金曜日 6回講座
 第3期 7月5日(金)~8月9日(金)
 第4期 8月23日(金)~9月27日(金)
 受付 19:00~ / 時間 19:30~20:30

【場所】 第3期 伊賀上野交流研修センター
 第4期 上野運動公園体育館

【料金】 各期3,000円

【対象者】 一般

【定員】 20名 ※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 阿部 和矢先生

【申込受付】 6月22日(土)、10:00から☎22-0511にて申込受付



ホール・ドーム **これから** 情報

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
6/15(土) 11:00~	第60回 東海高校総体ハンドボール	第一、第二	東海総体ハンドボール ☎0594-31-5231(桑名工業高校 寺崎)
6/16(日) 10:00~			
7/6(土) 10:00~	第43回 三重県ジュニア新体操大会	第一	三重県体操協会 ☎0594-22-5221(事務局 桑名高校 羽場)
8/3(土) 8:30~	第9回 伊賀市スポーツ少年大会	第一、第二	伊賀市スポーツ少年団、伊賀市教育委員会 ☎47-1284(スポーツ振興課)

ふるさと会館いが 伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
6/30(日) 15:00~	藤原道山×SINSKE「風神雷神」 〜尺八とアノバによる世界観オケストラ〜	大ホール	一般 3,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7/7(日) 14:00~	チャリティーライブ Full-Come-Live Vol.38	小ホール	無料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7/20(土) ①13:00~ ②17:00~	三山ひろし コンサート	大ホール	一般 3,800円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7/27(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
7/28(日) 14:00~	夏休みの自由研究に 「能楽」を体験してみよう!	小ホール	無料 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

プールオープン!!

次の期間にプールを開設します。

◇上野運動公園プール

- ・開設期間等 7/20(土)~8/25(日)まで 10:00から16:00まで
※7/29(月)、8/5(月)は休業します。
- ・時間区分 ①10:00~12:00 ②13:00~16:00
(毎時50分から10分間休憩)
- ・お問合せ先 上野運動公園スポーツセンター TEL23-5191

◇阿山・大山田B&G海洋センター

- ・開設期間等 7/6(土)から9/8(日)まで 9:00から22:00まで
※阿山は火曜日、大山田は月曜日を休業します。なお、休日の場合は翌日とします。
- ・時間区分 ①9:00~12:00 ②13:00~17:00
③18:00~22:00 (毎時50分から10分間休憩)
- ・お問合せ先 阿山B&G海洋センター TEL43-1380
大山田B&G海洋センター TEL47-0551

◇利用料金

各プール共通 1区分 一般300円、中学生以下150円、乳幼児50円

●編集部だより●

ゴールデンウィーク、新緑に誘われて陶器市に出かけた。たくさんの窯元がひしめき合うこの地は、用水路に落ちている焼物の破片を拾って遊んだ記憶が残る、祖父母の故郷でもある。

東北の親戚に伊賀焼を手みやげにと意気込んでいたのだが、見当たらないのだ。いや、あることはあるが少ないのだ。ピードロの美しさや小石交じりの荒々しい焼肌、灰がかぶった枯れた色合いの焼物「ザ・伊賀焼」が…。

「えっ!!」思わず漏れた言葉に、知り合いの作家さんが寂しそうに笑っていた。若い作家は、自分たちの好きなもの(=今風でお客さんのニーズもある)を作っているのだから、昔ながらの伊賀焼が少なくなっているのだと…。

なんともやるせない話だと溜息をつきながら、みやげは? と思いたした。そういや贈る相手は酒豪やからと、結局今風の焼酎サーバーを買って求めた。帰路、知人に出会わないように小走りで…。 (広報事業委員 辻村勝則)

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/21(金) ①14:00~ ②18:00~	石原詢子 25周年記念コンサート	5,000円 (全席指定)	Peak Sound ☎070-5331-0880(塚副)
6/23(日) 14:00~	第20回記念 あい愛コンサート	500円 (当日700円)	あい愛コンサート実行委員会 ☎44-1112(事務局 福島)
7/5(金) 19:00~	布施 明LIVE2013	一般 5,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
7/7(日) 13:00~	ひまわりコンサート 「太陽に両手ひろげて24」	大人 1,300円 小中高 500円 (当日券 各200円増)	社会福祉法人維雅幸育会 ☎39-1133(上野ひまわり作業所 小嶋)
7/13(土) 19:00~	ステージ on STAGE 情熱のFlamenco	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
7/15(月・祝) 14:00~	ピアノ発表会	無料	三響楽器 ☎059-225-3926(伊藤)
7/21(日) 13:30~	第45回慈善吹奏楽演奏会 チャリティーコンサート	500円	伊賀吹奏楽連盟 ☎21-2550(上野高校 福岡)
8/1(木) 18:00~	名張桔梗丘高等学校吹奏楽部 First Concert 2013	無料	三重県立名張桔梗丘高等学校 ☎65-1721(吹奏楽部 和田)

青山ホール 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/23(日) 13:00~	第5回 ブルーエコー歌謡コンサート	1,000円	青山文化サークル連絡協議会ブルーエコー ☎090-6072-2180(福岡正俊)
6/30(日) 9:40~	三重歌謡友の会 伊賀フェスティバル	無料	西川りち香 ☎38-1578(西川りち香)
7/7(日) 13:00~	ピアノ発表会	無料	乾 裕香、延山正子 ☎65-8055(延山正子)
7/13(土) 10:30~	青山老人クラブ連合会 福祉大会	無料	青山老人クラブ連合会 ☎54-1411 ☎090-8868-5917(若原幹生)
7/28(日) 13:00~	ピアノ発表会	無料	Note&Rest 一ノ瀬 薫 ☎68-5775(一ノ瀬 薫)
8/3(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
8/11(日) 14:00~	水田わさび講演会	無料 (要整理券)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/16(日) 13:00~	ジュニアエレクトーンフェスティバル& エレクトーンステージ2013	無料	(株)さわ楽器 ☎23-8080
6/29(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
7/7(日) 10:30~	Soaveピアノフェスティバル	無料	(株)さわ楽器 ☎23-8080

伊賀びと川柳

五月晴れ忍者にぎわう上野まち
稲岡 良子

飼犬も忍者の服できよるきよると
井ノ上揮男

子どもの日忍者が眠るベビーカー
谷本 直美

ながさをバアバ(婆)がお茶でえびす顔
東平 幸子

★かあちゃんのだん種羊羹食べすぎた
福沢 義男

川柳の基を創った芭蕉さん
伊賀のひてまる

介護などいらぬ私は忍者です
森岡さくら代

次号89号の締切は7月15日(月)祝です。
投稿いただいた方の中から★印の方に「西本智
実×京都市交響楽団」ペアチケットをプレゼント
します。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年
齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・
FAX・Eメールで下記までお願いします。

お問い合わせ (公財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512 Eメール samazama@bunto.com
☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2

・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com> ・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/furukan/>

ぶんと通信